

2012年7月1日

日本語教育学会 教師研修委員会とは

教師研修委員会は、日本語教育学会の常置委員会で、そのときの状況、これから先の日本語教育を念頭に、日本語教育に携わる人々の資質向上に資する研修の実施を目的とした活動を行っています。

経緯：

1963年の「外国人のための日本語教育講習会」から始まって、学会は主催・共催のほか、旧文部省、旧国立国語研究所、国際交流基金の講習に協力・委託などの形で研修を実施してきました。1979年～1998年は国際交流基金の助成により「海外での日本語教育に従事する人」を育成するための理論課程と実習課程の研修を実施。国内・海外の日本語教育をめぐる状況の変化に合わせて、教師研修委員会も、オンラインによる研修、集中研修、モジュール型オムニバス研修など様々な形や内容の研修を実施してきました。

現在の活動：

現在は、週末の半日・1日研修や年1回の集中研修などの形で毎年数回の研修を、主として関東方面で実施しています。これらの研修のテーマや方法は、そのときどきの日本語教育や学会会員の状況を考慮し、12名の委員が毎年の研修を企画・運営しています。そこでは、研修参加者各自の資質向上を図れるよう、現場の実践や研究に役立つ内容・方法提供を心がけています。さらに、内容面でのバランスを考え、教育実践から研究、他分野との連携など、できるだけ幅広いテーマ、分野の研修を行うよう努めており、以下を基本的な考え方としています。

- ・ **世界の日本語教育の発展を目標にした教師研修を行う**
- ・ **時代が求める最先端の情報を提供し、世界の日本語教育のリーダーとなる日本語教師の育成に貢献する**
- ・ **現職者が日常業務を通じて教師として成長できるよう、きっかけとなる場を提供する**
- ・ **国内外の教師間ネットワークの構築を支援する**
- ・ **日本語教育をめぐる新たな課題への対応を考える場を提供する**

特に、2010年度より教師研修委員会主催研修のキーワードとして以下の3つを掲げています。

- ・ **他領域との協働**
- ・ **社会とのつながり**
- ・ **実践と研究の往還**

最新の研修会実施予定については、日本語教育学会ホームページをご覧ください。

<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>

以上